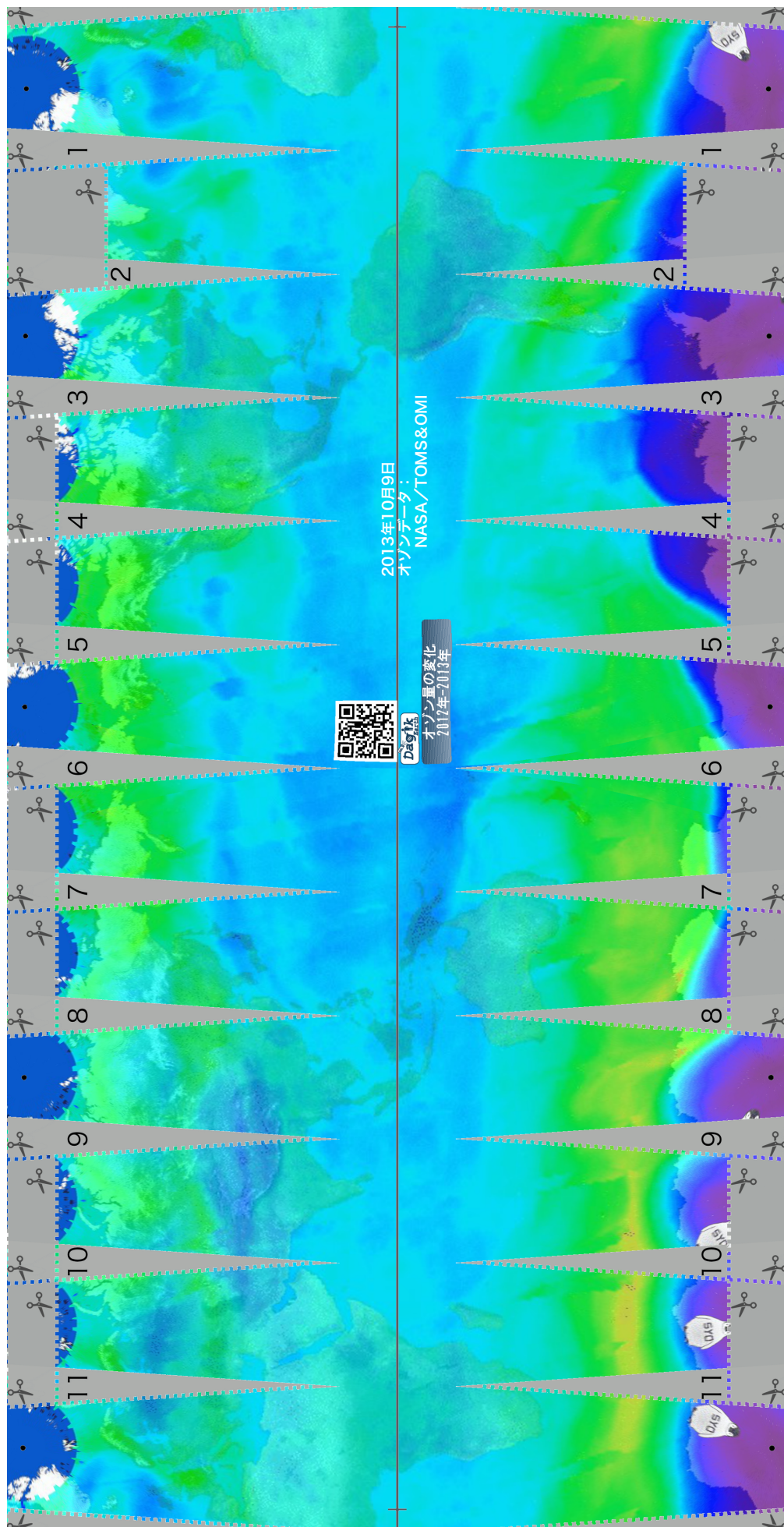
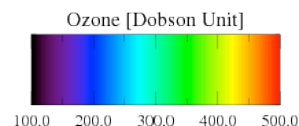




低軌道の人工衛星によって観測されたオゾン全量(鉛直方向に積算したオゾン量)です。2013年10月9日の観測です。南半球の冬から春にかけて、南極上空にオゾンホールが見られます。北極周辺のデータがなく、地面や海面が見えている所は、太陽光が当たらずにオゾンの観測ができていない所です。オゾンは太陽光が当たらないと衛星から観測できないため、5月～8月あたりの南極と11月～2月あたりの北極は観測できません。

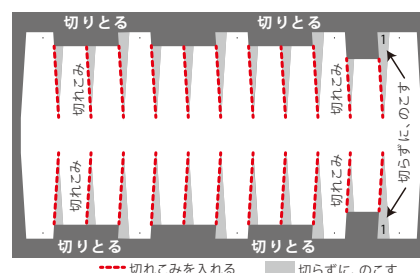


データ: NASAのTOMSとOMIによって観測されたオゾン量データ
データ提供: NASA/GSFC Ozone and Air quality NASA/GSFC Ozone and Air quality
地表画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表画像)。海の色は変更してあります。

このファイルを拡大・縮小をせずに印刷すると**直径8cm**の球に貼れるサイズになります。

手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、
発泡スチロールなどの球に貼って、
手作りの地球儀を作りましょう。



※画像は重なるようになっていきますので、点線の内側に沿って切ると、すきまなく重なります。